



世界農業遺産
静岡の茶草場農法 

GIAHS
"Chagusaba" in Shizuoka

静岡の茶農家は、ひと手間かけて
良いお茶作りに励んできた。
その営みが、
豊かな生物多様性を守っている。

静岡県 掛川市 / 菊川市 / 島田市
牧之原市 / 川根本町

概要

静岡の茶草場農法

about
“Chagusaba”
in Shizuoka

豊かな生物多様性を育み、 環境と共生する伝統農法

静岡県の掛川市、菊川市、島田市、牧之原市、川根本町の4市1町では、県の特産品であるお茶の栽培を「茶草場（ちゃぐさば）農法」と呼ばれる独自の伝統農法で栽培しています。

茶草場とは、茶園に有機物として投入するススキやササなどの草を刈り取るための半自然草地のことです。

茶草場農法認定地域内の茶園周辺には、茶草場がモザイク状に点在しています。静岡では当たり前の風景ですが、他ではほとんど見られない静岡県の特徴的な風景です。そこには希少種を含む多くの動植物を身近に見る事ができます。

伝統的な茶草場農法の技術は、より高品質なお茶を生産しようとする農家の方々の努力により今日まで継承

されています。良質なお茶を生産する営みが、結果的に生物を守ってきたのです。

高品質なお茶生産が 生物多様性を 守る

このように農業と生物多様性が両立していることが世界から評価され、2013年5月に国際連合食糧農業機関（FAO）から、世界農業遺産に認定されました。

茶草場農法とは

茶園の畝間にススキやササを主とする刈敷きを行う伝統的農法のことです。この茶草によって、茶の味や香りが良くなると言われています。

静岡県の茶栽培では、秋から冬にかけて、茶園の周辺にある茶草場の草を刈り、束ねて乾燥させます。翌年の2月頃、乾燥させた草を裁断し、茶園の畝間に敷き詰めます。夏にはただの草むらにしか見えない茶草場ですが、秋になるときれいに草は刈られ、刈られた草が束ねられて干してある風景を見

茶草場農法の工程

高品質な茶生産のため、通常の茶栽培に①～④を組み込んだ農法です。



晩秋に草を刈る



刈った草を乾燥させる



乾燥した草を裁断する
(裁断しない地域もあります。)



茶園に投入する

茶園、お茶への効果

- 茶園土壌の保湿及び保温に役立ちます。
- 土中の微生物の繁殖を助け土質が改善されます。
- 茶草はやがて分解され堆肥になります。
- 土壌の流出を防止します。
- 雑草の繁茂を抑制します。

これらの効果により、
おいしいお茶ができます。



茶草場に息づく 多様な生物

毎年秋の草刈りが、茶草場を多様な生物の生息する特別な場所に変えてきました。

茶草場では300種類以上の動植物が生息しており、固有種や絶滅危惧種も確認されています。

人の手によって維持管理されている草地環境は「半自然草地」と呼ばれています。人の手が入って、草を刈ることは、一見すると自然を破壊しているようにも見えますが、実際には、人の手が適度に入った里山環境では、多くの生物種が生息することが知られています。草を刈らずにおくと、生存競争に強い植物ばかりが生い茂ってしまふので、生息できる植物の種類はかえって減ってしまいます。一方、定期的に草を刈り取ることによって、大きな植物が茂ること無く、地面まで日の光が当たるので、さまざまな植物が生息することができます。そのため、里山の草地では多くの動植物が生息して、豊かな生物多様性を作り上げているのです。

日本の太平洋側、日本の最高峰富士山を擁する静岡県の南アルプスの南に広がる山地、丘陵地。茶園面積約 9,000ha、及び茶草場約 422ha。



カゲガワフキバツタ

静岡県掛川市の地名を冠した固有種で翅が退化して成虫になっても飛ぶことのできないバツタです。

フジタイゲキ

富士山の名前を冠した静岡県の固有種で、環境省の絶滅危惧II類（VU）に指定されています。





掛川市東山地区のシンボル「粟ヶ岳」は、週末はハイキングやサイクリング客で賑わっています。スタート&ゴール地点となる休憩所「東山いっぶく処」には無料駐車場とサイクルラックが完備されており、車を止めてトレッキングなどを楽しむことができます。

標高532mという程よい高さも魅力の一つ。訪れた際には是非、登山ノートにご記入を。名前と登頂回数を記載できます。1000回以上登山をした人や、自転車で一日7往復した人の記録も見ることができます。

店内には地元産のお茶や新鮮な野菜、手作りの品も並んでいます。気さくな店員との触れ合いと、美味しいお茶を是非楽しんでみてください。

東山いっぶく処を起点としたハイキングとサイクリング



茶草場へのアプローチ
掛川市

掛川市のおすすめスポットをご紹介します。

世界農業遺産に認定された茶園の風景と掛川市が一望できます。条件が良ければ遠州灘と富士山を観ることもできます。登頂まで約1時間、汗を流した後の眺望は喜びもひとしおです。

原生林が生い茂る、神聖な空気に満ちた鎮守の森の光景。この森には、神が降り立ったと伝わる巨石群「磐座」が鎮座しています。コケに覆われた巨石と原生林があやなす光景は幻想的ですからあります。

粟ヶ岳山頂からの眺めと阿波々神社の鎮守の森



粟ヶ岳の巨大な茶文字

一辺130mの巨大な木で描かれた「茶」の文字。百年ほど前に地元の茶農家たちによって作られた、お茶と共に生きる決意表明だとか。そんな地元の方々の想いを感じながら、茶草場農法が守ってきた貴重な草党性植物を間近に体感できるスポットです。



掛川市の紹介

掛川市は、日本のほぼ中央に位置し、南部には遠州灘の「海」、北部には「山」を有し、豊かな自然環境に恵まれたふるさとです。また、東西を横断する「街道」があり、城下町や宿場町として発展した多くの歴史遺産が残る文化の香り高いまちです。さらに、「深蒸し掛川茶」が全国茶品評会で通算20回もの産地賞を受賞するなど、全国屈指のお茶処です。

「深蒸し茶」は、濃厚な緑色と自然の甘みを持つ、味わい深い緑茶です。陽射しをたっぷり浴びた茶葉は、深く蒸すと組織がほぐれ、生活習慣病の予防効果があると言われるカテキンなどの成分が、多く抽出されます。ぜひ、深蒸し掛川茶をお試しください。

掛川市の情報

静岡県 掛川市

【大きさ】
面積 - 265.69 km²
長さ - 南北約 30 km 東西約 15 km

【人口・世帯数】 (2019年2月末現在)
人口 - 118,033 人 (外国人を含む)
世帯数 - 45,064 世帯

写真1 / 隣をサイクリストたちが駆け抜けていく。

写真2 / 東山いっぶく処
〒436-0001 静岡県掛川市東山 1173-2
<http://www.higashiyamacha.jp/>

写真3 / 粟ヶ岳山頂からの眺め。茶園の風景と掛川市が一望できる。

写真4 / 県の天然記念物である大木が生い茂る鎮守の森と巨石群「磐座」の幻想的な光景。

写真5 / 「粟ヶ岳」といえば、この巨大な茶文字。

写真6 / 茶草場に生息する「カワラナデシコ」。

写真7 / 粟ヶ岳山頂へ向かう道から望む風景。



菊川市北東部に位置する「倉沢の棚田」は「千框(せんがまち)」と呼ばれる昭和40年頃には一面に棚田が広がり総面積10.1ha、3000枚以上から構成され、JR東海道本線の車窓からも展望でき、昔から旅人に美しい農村景観として親しまれてきましたが、時代の変化に伴って、荒れてしまいました。

その後、地元の有志やボランティアの活動により、棚田の復元が行われ、現在の美しい景観を取り戻しています。現在はNPO法人「せんがまち棚田倶楽部」が主体となって復元と保存・維持の活動が続けられています。

なお、近代になって棚田の一部は茶草場として利用されてきました。この田んぼと茶草場を行き来できる環境が、生物の多様性を育むうえで重要であることが分かり、世界農業遺産「静岡の茶草場農法」に含まれることとなりました。

菊川市倉沢の棚田『千框(せんがまち)』

建物は貸しスペースとして、定期的にイベントが行われています。裏手のベンチでは歴史を感じながら小休憩できます。

JR菊川駅から100mほど南に堂々と建っている赤レンガ倉庫。明治33年(1900年)に製茶再製工場として建てられた、100年以上の歴史ある建物です。

茶葉を保管するための倉庫として使われていた他、「合組(ごうぐみ)」と呼ばれる茶葉のブレンド作業が行われていたと考えられています。

国の登録有形文化財であり、当時の製茶工場の様子を現在に伝える日本で唯一の産業遺産です。日曜10時~16時に開館しており、その他の時間の見学は予約制です。

菊川赤レンガ倉庫



菊川駅から徒歩3分。現代的な建築が目を引く外観。お店のマークがプリントされた暖簾をくぐると、贈り物として喜ばれそうな洗練されたパッケージのお茶やグッズが並んでいます。開放感のある庭でくつろげるテラス席と、外の光と内装を楽しむ室内席を選ぶことができます。

それぞれのお茶の違いがわかるこだわりのメニューが揃い、種類ごとに飲み比べてみると違いを感じられます。店員さんに頼めば試飲ができるものもあり、その他、旨みを一番いい状態で味わえるように、淹れ方から丁寧に教えてくれます。

お茶に合わせたお茶うけもついています。カフェタイムに楽しめる、お茶の香りが漂うシフォンケーキや、抹茶プリンなど数多くのメニューが楽しめます。緑茶以外に、香りのよい紅茶も売っています。

san grams(サングラム)

写真1 / 「千框(せんがまち)」と呼ばれる「倉沢の棚田」。
〒439-0002 静岡県菊川市倉沢1121-1「上倉沢公会堂」付近
棚田いこうよ HP <http://www.tanadai1504.net/>

写真2 / 菊川赤レンガ倉庫
〒439-0006 静岡県菊川市堀之内1425

写真3 / san grams(サングラム)
〒439-0006 静岡県菊川市堀之内1-1
<http://www.san-grams.jp/>

写真4.5 / 数あるお茶の中からお気に入りを見つけよう。
見た目から美味しいスイーツも多数。



茶草場へのアプローチ
菊川市

菊川市のおすすめスポットをご紹介します。

菊川市の紹介

深蒸し茶発祥の地として知られる菊川市は、静岡県の中西部、静岡市と浜松市のほぼ中間に位置し、南アルプス支脈粟ヶ岳山麓を水源とする一級河川「菊川」の中流域に広がるまちです。東には「日本一の大茶園」牧之原台地が広がり、遠くに霊峰富士山が望め、「お茶のまち菊川」としても広く知られています。

菊川市で本格的なお茶の栽培が始まったのは、鎖国が解かれた明治初期のことです。横浜開港によってお茶が輸出の花形商品となり、菊川市の東に広がる当時は雑木林であった牧之原台地が開墾され、お茶が植えられました。寝食を忘れて茶園づくりに取り組んだ開拓者の努力は百数十年の時を経て、今や大規模な茶園へと大きく実を結びました。

菊川市の情報

静岡県 菊川市

【大きさ】
面積 - 94.19 km²
長さ - 南北約 17 km 東西約 9 km

【人口・世帯数】(2019年2月末現在)
人口 - 48,375人(外国人を含む)
世帯数 - 17,781世帯



茶草場へのアプローチ
島田市

島田市のおススメスポットをご紹介します。

世界一長い木造歩道橋
蓬萊橋と蓬萊橋897・4
(やくなし)茶屋

時代劇の世界にタイムスリップしたかのようなたたずまいの蓬萊橋は、明治12年(1879年)に牧之原開墾者たちの共同出資により、農業用の橋として誕生しました。やがて大井川の右岸と左岸を結ぶ住民の生活路となり、現在では歩行者と自転車だけが通行できる賃取り橋として観光名所となっています。全長897・4mのこの橋は、「世界一長い木造歩道橋」として英国ギネス社の認定を受けました。夜はライトアップされ、幻想的な風景を楽しめます。

平成30年3月20日、蓬萊橋のたもとに物産販売所がオープンしました。蓬萊橋の長さになちなみ「蓬萊橋897・4(やくなし)茶屋」と名づけられ、茶草場農法実践者のお茶を始め、地元の美味しいお茶やお菓子、工芸品など、島田市の特産品を販売しています。
また、イトインではお茶とお菓子のセットがあり、大井川の雄大な自然を眺めながらいただくお茶は格別の味わいです。



旧東海道石畳菊川坂

旧東海道石畳菊川坂は、平成13年に『石畳菊川坂助郷伝説』と銘打ち、菊川坂に町内外の方々の手によって山石が敷かれ、611mの石畳が復元されました。菊川坂の一部には江戸時代後期の石畳(平成12年に発掘)が残り、平成13年11月26日に県指定文化財に指定されました。坂の途中からはその昔「間の宿(あいのしゆく)」と呼ばれた菊川地区の街並みと茶草場が一望できます。

川根温泉 ふれあいの泉

川根温泉は、S・Lの汽笛を聞きながら露天風呂や大浴場、温水プール、サウナなどを楽しめる天然温泉です。源泉掛け流しのナトリウム塩化物温泉で、その泉質は肩こりや腰痛、皮膚炎によいといわれています。道の駅として認定され、地場産品の販売のほか、食事や休憩施設では地域の食材を使ったご当地メニューを食べることができます。また、温泉付きの宿泊コテージも併設しています。



島田市の紹介

島田市は静岡県のほぼ中央に位置し、大井川の自然の恵みに育まれた日本でも有数の茶産地です。島田茶・金谷茶・川根茶の3つの茶産地を有し、それぞれに特長のあるお茶が生産されています。また、古くから交通の要所として栄え、その歴史や文化は、都市と山村のほどよい調和を生み出し、ふるさとのような里山の自然と人のあたたかさを感じられる地域です。

また、『地球上でもっとも緑茶を愛する街』を合言葉に、シティブロモーション「島田市緑茶化計画」を始動し、身の回りに緑茶グリーンを取り入れるなど、市民と行政が一丸となって島田市の魅力を発信しています。



写真1 / 蓬萊橋 897.4 茶屋
島田市南2丁目地先
島田市観光協会HP <http://www.shimada-ta.jp/>

写真2 / 蓬萊橋 897.4 茶屋 イートイン

写真3 / 東海道石畳菊川坂降り口付近
〒428-0037 島田市菊川1321-4
降り口付近に諏訪原城跡駐車場があります
島田市観光協会 HP <http://shimada-ta.jp/tourist/>

写真4 / 川根温泉 ふれあいの泉 公式HP <http://kawaneonsen.jp/>
〒428-0101 静岡県島田市川根町笹間渡220



牧之原大茶園

東名相良牧之原インターチェンジの北側には、日本有数の規模を誇る「牧之原大茶園」が広がっています。見渡す限りの茶園は他では見ることのできない景観です。

4月ごろに新芽が萌えて一面が鮮やかな萌黄色に染まる季節はもちろん、冬の晴れた日には茶園越しに日本一の富士山を眺めることが出来ます。

茶草場へのアプローチ 牧之原市

牧之原市のオススメスポットをご紹介します。



子生れ石

600年以上前に大徹和尚によって大興寺が開山されました。大徹和尚は九十余歳の高齢で大往生を遂げる際、多くの門弟達に「わしの身代わりとして裏山より石が生れ出るであろう」と予言しました。事実、往生直後にまゆ型の石が落下したそうです。

石は「子生れ石」と名付けられました。以後、代々の住職も石の落下を予言しているそうです。長寿の石、子授けの石、安産の石と言われ、信仰を集めています。



さがら子生れ温泉会館

東名相良牧之原インターチェンジより車で約10分の場所にあります。

子生れ温泉は、温泉から約700m程の場所にある子生れ石にちなんで名づけられました。「長寿の湯」「子授けの湯」「安産の湯」として親しまれています。

源泉かけ流しの天然温泉で、数種類の内湯、露天風呂などが楽しめます。

(株)荒畑園

牧之原大茶園のすぐそばにあるお茶屋さんです。茶草場農法を実践しているだけでなく、土にこだわったお茶づくりをしています。

マルサン萩間茶(有)

牧之原の自然や田んぼに囲まれた長閑なロケーションの中で、三つ葉認定の生産グループ「牧之原野の花会」のお茶を販売しています。



牧之原市の紹介

静岡県中部の南に位置する牧之原市は、牧之原大茶園を背に、東に駿河湾を望む、温暖な気候に恵まれた緑豊かな市です。東名高速道路「相良牧之原IC」と御前崎港、そして富士山静岡空港と、陸・海・空それぞれの玄関口を持つているので、多くの人が牧之原市を訪れます。

日本有数の茶産地として知られている牧之原市は、県内でもトップクラスの荒茶生産量を誇っています。市内には、広大な茶園が広がっており、安心・安全で高品質なお茶づくりが行われています。

太陽の恵みを受け、肉厚に育った茶葉を、長時間蒸した「深蒸し茶」がこの地域の主流で、茶葉のコクや旨みが十分に引き出された、まろやかな味わい、濃厚な甘み、鮮やかな緑色特徴のお茶です。



写真 1 / 牧之原大茶園(布引原付近)
〒421-0407 静岡県牧之原市布引原

写真 2 / 子生れ石 〒421-0508 静岡県牧之原市西萩間

写真 3,4 / さがら子生れ温泉会館
〒421-0508 静岡県牧之原市西萩間672-1
公式HP <http://koumareonsen.com/>

写真 5 / お茶の荒畑園
〒421-0407 静岡県牧之原市布引原257
公式HP <https://www.arahataen.com/>

写真 6 / マルサン萩間茶(有)
〒421-0506 静岡県牧之原市大寄542-4
公式HP <http://www.chaoroshisonpo.net/>



しおごう&くのわき おさんぽ MAP

おさんぽ MAP は、恋金橋の入り口付近にある看板のところで入手できます。



くのわきおさんぽコース

久野脇地区三津間集落には約2時間のウォーキングを楽しむながら、茶草場を覗くことができる「おさんぽコース」があります。
恋金橋からスタートし、緑カフェ、佐沢薬師を通過し、山を1つ越えた先に茶草場農法で栽培される茶園や茶草場が広がっています。



茶草場へのアプローチ
川根本町

川根本町のおすすめスポットをご紹介します。

長さは220メートル。大井川鐵道「塩郷駅」の近くにあり、車で77号線を走っているとまるで空中を歩いている人がいるような景色です。
駐車場もあるので、休憩がてら歩いてみると、広大な大井川の川幅を体験できます。下を走る線路や車を眺めながらの絶景です。つり橋の上は、ワイヤーの手すりと板が2本配置されているだけで、高所恐怖症の方は注意が必要です。
恋金橋から数10mの位置にあるせせらぎの郷の横の沢の奥には、「川根夫婦滝」と呼ばれる滝があり、夏でも涼しげな景観を楽しむことができます。

恋金橋(塩郷の吊り橋)と川根夫婦滝



全国からキャンパーが訪れる人気のキャンプ場です。清流沿いに広がるキャンプサイトは自由に開放的な雰囲気です。
不動の滝 オートキャンプ場



つちや農園は川根茶を気軽に楽しむことができる「川根茶縁喫茶」を行っている、茶草場農法認定実践者です。標高600mに位置し、天空の茶産地と呼ばれています。霧が深く、昼夜の温度差があるため、良質なお茶が育ち、山のお茶ならではの滋味や香気が際立つ川根茶。美しい山々に囲まれながらじっくりとお茶を愉しむことができます。

つちや農園

川根本町の情報

静岡県 川根本町

【大きさ】
面積 - 496.72 km²
長さ - 南北約 40 km 東西約 23 km

【人口・世帯数】(2019年3月1日現在)
人口 - 6,816人 (外国人を含む)
世帯数 - 2,881世帯

川根本町は、日本三大銘茶「川根茶」の産地であり、静岡県のほぼ中央に位置する自然豊かなまちです。町の最北端にある南アルプス光岳(てかりだけ)は、本州唯一の原生自然環境保全地域に指定されており、貴重な動植物が生息しています。町の中央には、南アルプスを源とする大井川が流れ、大井川沿いに広がる茶園や高地に存する天空の茶園など様々な茶畑の景観が広がっています。また、大井川沿線をSLや日本で唯一のアプト式鉄道が運行しており、1年を通して多くの観光客が訪れます。こうした南アルプスの豊かな自然環境と、共に暮らしてきた人々の歴史・伝統・文化が認められ、町域全体がユネスコエコパークに登録されています。

川根本町の紹介

写真 1 / 久野脇地区 三津間集落
〒428-0315 静岡県榛原郡川根本町久野脇

写真 2.3 / 恋金橋 [塩郷の吊り橋]
〒428-0304 静岡県榛原郡川根本町下泉 下泉1939
川根本町まちづくり観光協会 HP「奥大井の旅なび 見る/景観」
http://www.okuooi.gr.jp/

写真 4 / 名前の通り二つの滝が流れる川根夫婦滝

写真 5 / つちや農園
〒428-0312 静岡県榛原郡川根本町水川972
公式HP http://www.tsuchiya-nouen.com/

写真 6.7 / 不動の滝自然広場 オートキャンプ場
〒428-0304 静岡県榛原郡川根本町下泉1122
公式HP http://www.ffnpcs.com/

世界農業遺産「静岡の茶草場農法」 推進協議会の事業内容について

about
Council for
the Promotion
of "Chagusaba
in Shizuoka" as a GIAHS

茶草場農法実践者 認定制度

世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会は、茶草場農法によるお茶のブランド化、茶草場農法の継承、地域の活性化を目的に、茶草場農法の実践者を認定しています。経営茶園の面積に対して管理する茶草場の面積の割合を算出し、各実践者を茶の新芽で

認定区分	認定表示
5~25%未満	
25~50%未満	
50%以上	

表現した3つの区分で認定します。販売される実践者の茶関連商品には認定シール（生物多様性保全貢献度シール）をつけています。
また、非正規品の出現を防ぐため、販売業者の登録制をとっています。
認定シールに表示されているQRコードを読み取ると、推進協議会のホームページにアクセスできます。ホームページでは、実践者の情報や主な取組などがご覧になれます。

認定シール

この製品の原料茶は、
世界農業遺産
静岡の茶草場農法
の実践者により生産された
ものです。
生物多様性保全貢献度

この表示は生物多様性保全
貢献度を茶葉の数で示した
ものです。詳細はQRコードで
Webサイトをご覧ください。

世界農業遺産
「静岡の茶草場農法」
推進協議会

この製品の原料茶は、
世界農業遺産
静岡の茶草場農法
の実践者により生産され
たものです。
生物多様性保全貢献度

この表示は生物多様性保全
貢献度を茶葉の数で示した
ものです。詳細はQRコードで
Webサイトをご覧ください。

世界農業遺産
「静岡の茶草場農法」
推進協議会

※生物多様性保全貢献度シールは、お茶製品自体の品質を証明するものではありません。

世界農業遺産について

about
"GIAHS"
Globally Important
Agricultural
Heritage Systems

伝統的な農業や文化風習・ 生物多様性を守り、

未来へ継承していくために

世界農業遺産とは

『世界農業遺産』、正式名称を「世界重要農業遺産システム(GIAHS)」といます。世界の農林水産業の振興を司るFAO(国際連合食糧農業機関)が認定し、農業のシステムを評価する仕組みです。

社会や環境に適応しながら何世代にもわたり発達し、形づくられてきた農業上の土地利用、伝統的な農業とそれに関わって育まれた文化・景観・生物多様性に富んだ、世界的に重要な農林水産業システムを次世代へ継承することを目的とし、2002年(平成14年)に創設されました。

世界農業遺産の認定

2019年3月現在において、「世界農業遺産」の認定数は、21カ国57地域です。日本では11地域が認定されています。

静岡県は当推進協議会構成市町の区域及び静岡水わさびの伝統栽培の構成区域が認定されており、日本で唯一、世界農業遺産の認定地域を2つ持つ都道府県となりました。

世界農業遺産認定基準

【申請地域の特徴を評価する3つの認定基準】

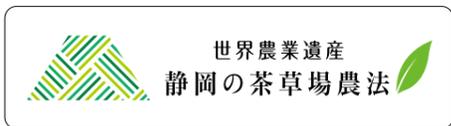
- 1 食料及び生計の保障
- 2 農業生物多様性
- 3 地域の伝統的な知識システム
- 4 文化、価値観及び社会組織
- 5 ランドスケープ及びランドスケープの特徴

申請地域は、世界的な重要性、申請地域の特徴(FAO定める5つの認定基準)及び保全計画(※1)に基づいて評価されます。

(※1)保全計画: 申請地域を維持・保全及び活用していくための計画書。(※2)ランドスケープ: 土地の上に農林水産業の営みを展開し、それが望する一つの地域的まとまり。(※3)ランドスケープ: 里海であり、沿岸海域で行われる漁業や養殖業等によって形成されるもの。

応援ロゴマーク

世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会は、平成29年5月にこの農法を象徴するロゴマークを発表しました。ロゴマークは、世界農業遺産「静岡の茶草場農法」を応援するシンボルとして、製作物、商品、媒体等への幅広い適切な利用を促すことにより、その認知度を高めるとともに、世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」の未来への継承・継承を目的としています。



※このロゴマークは、富士山の形で「ふじのくに静岡」と「茶草の積み上げられた草の束」を表現し、広く環境の保全と両立していることを意味しています。※ロゴマークの使用については、世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会への申請が必要となります。



国内外から応募のあった304作品の中から決定したロゴマークを発表しました。

日本にある 世界農業遺産 認定地域

"GIAHS" in Japan



新潟県 佐渡地域
トキと共生する佐渡の里山



石川県 能登地域
能登の里山・里海



静岡県 掛川周辺地域
静岡の茶草場農法



熊本県 阿蘇地域
阿蘇の草原の維持と持続的農業



大分県 国東半島宇佐地域
クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産環境



岐阜県 長良川上中流地域
清流長良川の鮎



和歌山県 みなべ・田辺地域
みなべ・田辺の梅システム



宮崎県 高千穂郷・椎葉山地域
高千穂郷・椎葉山の
山間地農林業複合システム



宮城県 大崎地域
持続可能な水田農業を支える
『大崎耕土』の伝統的水管理システム

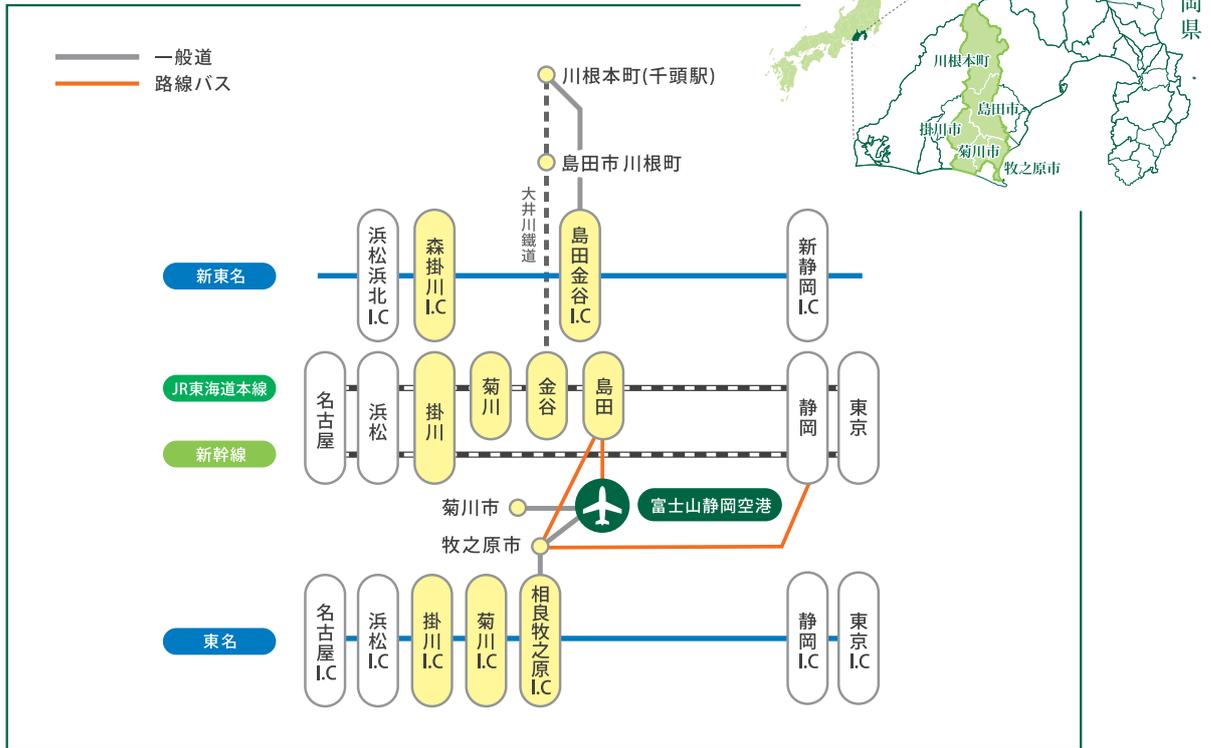


静岡県 わさび栽培地域
静岡水わさびの伝統栽培
発祥の地が伝える人とわさびの歴史



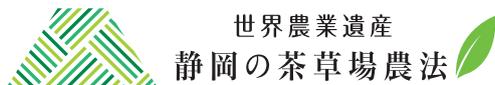
徳島県 にし阿波地域
にし阿波の傾斜地農耕システム

世界農業遺産 静岡の茶草場農法 認定地域へのアクセス



首都圏からの所要時間

掛川市	公共交通機関	東京駅～掛川駅 1時間50分(新幹線) 名古屋駅～掛川駅 1時間(新幹線)	車	東京～東名掛川I.C 2時間 名古屋～東名掛川I.C 1時間30分	
	公共交通機関	東京駅～掛川駅～菊川駅 2時間(新幹線、電車) 名古屋駅～掛川駅～菊川駅 1時間20分(新幹線、電車)	車	東京～東名菊川I.C 2時間20分 名古屋～東名菊川I.C 1時間30分	空港から 市街地まで車で約25分
島田市	公共交通機関	東京駅～静岡駅～島田駅 1時間40分(新幹線、電車) 名古屋駅～掛川駅～島田駅 1時間30分(新幹線、電車)	車	東京～新東名島田金谷I.C 2時間 名古屋～新東名島田金谷I.C 1時間40分	空港から 市街地まで車で約30分
	公共交通機関	東京駅～静岡市～牧之原市街 1時間50分(新幹線、バス) 名古屋駅～掛川駅～島田駅～牧之原市街 2時間40分(新幹線、電車、バス)	車	東京～東名相良牧之原I.C 2時間10分 名古屋～東名牧之原I.C 1時間20分	空港から 市街地まで車で約20分
川根本町	公共交通機関	東京駅～静岡駅～金谷駅～千頭駅 2時間40分(新幹線、電車(JR、大井川鐵道)) 名古屋駅～掛川駅～金谷駅～千頭駅 2時間30分(新幹線、電車(JR、大井川鐵道))	車	東京～新東名島田金谷I.C～川根本町 3時間40分 名古屋～新東名島田金谷I.C～川根本町 3時間40分	



世界農業遺産
静岡の茶草場農法

世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会
静岡県／掛川市／菊川市／島田市／牧之原市／川根本町

事務局：〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町 14-1 水の森ビル 3 階
TEL／054-202-1488 FAX／054-202-1480 URL／<https://www.chagusaba.jp/>
制作：世界農業遺産「静岡の茶草場農法」推進協議会